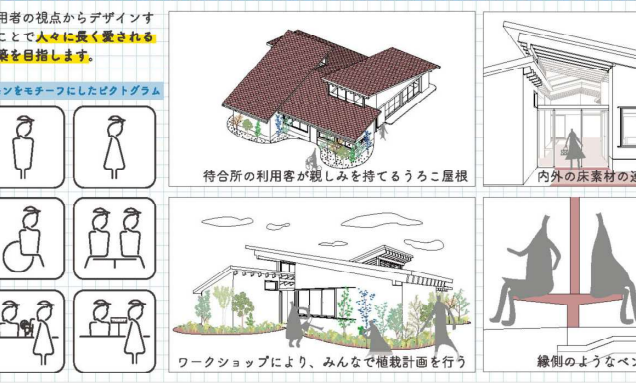


かざぐるまのふらっとホーム

瀬戸内の豊かな自然に囲まれ、開けた敷地に対して「4つの顔」を作ることで、大崎上島を訪れる観光客や地元住民をいつでも温かく迎え入れ、島・人・自然を繋ぐ結節点となる待合所を提案します。ここを訪れるといつも誰かが居て、人々の心温まる交流が生まれる。そのような大崎上島の暮らしと旅が繋がる待合所を目指します。

4. 人々に長く愛される親しみのあるデザイン

利用者の視点からデザインすることで人々に長く愛される建築を目指します。



5. 本提案の実現に向けた小さな工夫の集積

屋根
屋根：うろこ屋根
4つの屋根をかざぐるまのように配置することで、異なるファサードと軒下空間を形成し、親しみやすい空間性を目指します。屋根のズレから瀬戸内の豊かな自然（光・風）を取り込みます。屋根材には海と親和性のあるうろこ屋根を使用することで周囲に溶け込むように計画しています。

一般流通材の利用
建築により柱のない大空間を実現し、待合所をフレキシブルに利用することができます。また、一般流通材のサイズを元に全体を設計することで、特殊加工をなくし比較的安価な建築の実現を目指します。

床の仕上げ
床：土間コンクリート直仕上り金ごて押さえ
室内、外構舗装の床仕上げを基礎コンクリート直仕上り金ごて押さえとすることに加え、必要箇所のみ基礎を打設することによって床材にかかるコストとコンクリート量を抑えます。また、この床仕上げ方法は採用することにより、ホコリなどのゴミも清掃しやすく、維持管理が容易になります。

木造・RC造 / 内壁の素材
内壁：ラワン合板

配管部 S=1:1000

6. 周辺環境から読み解く最適な配置計画

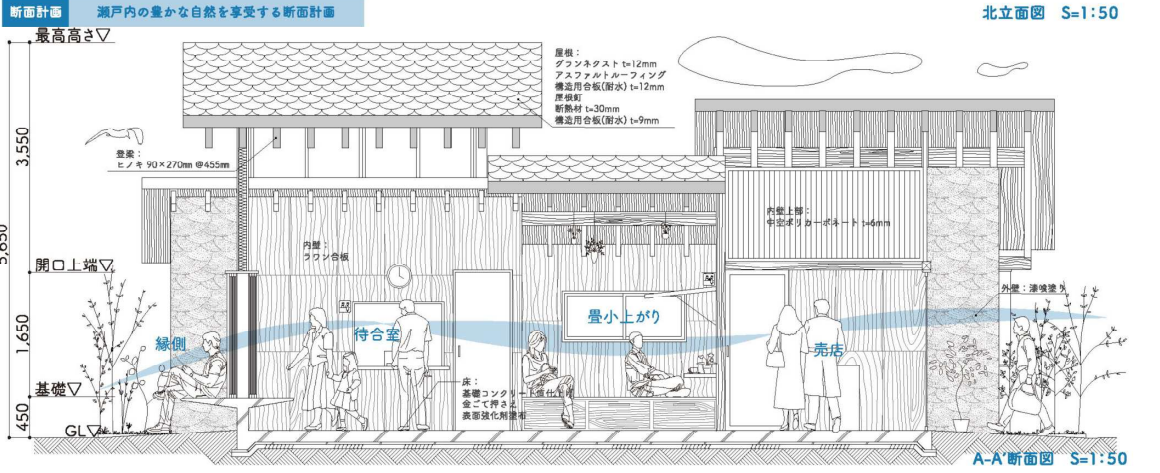
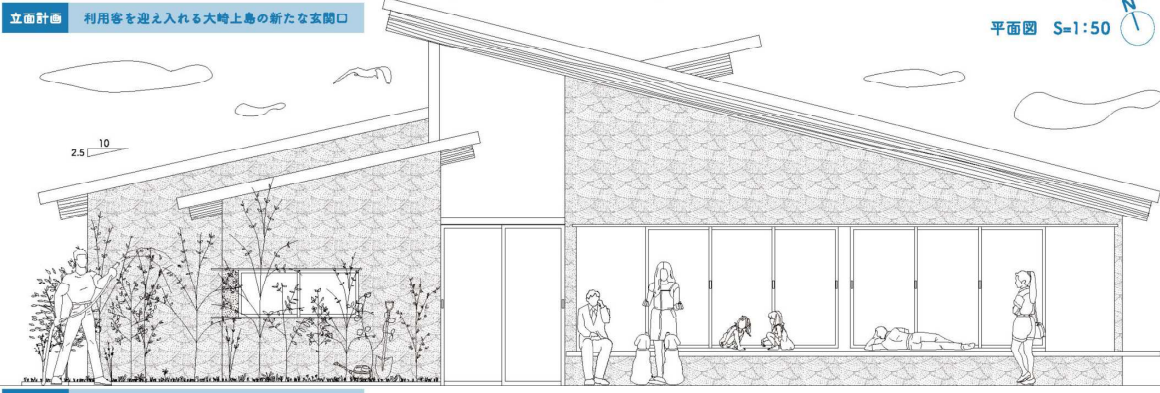
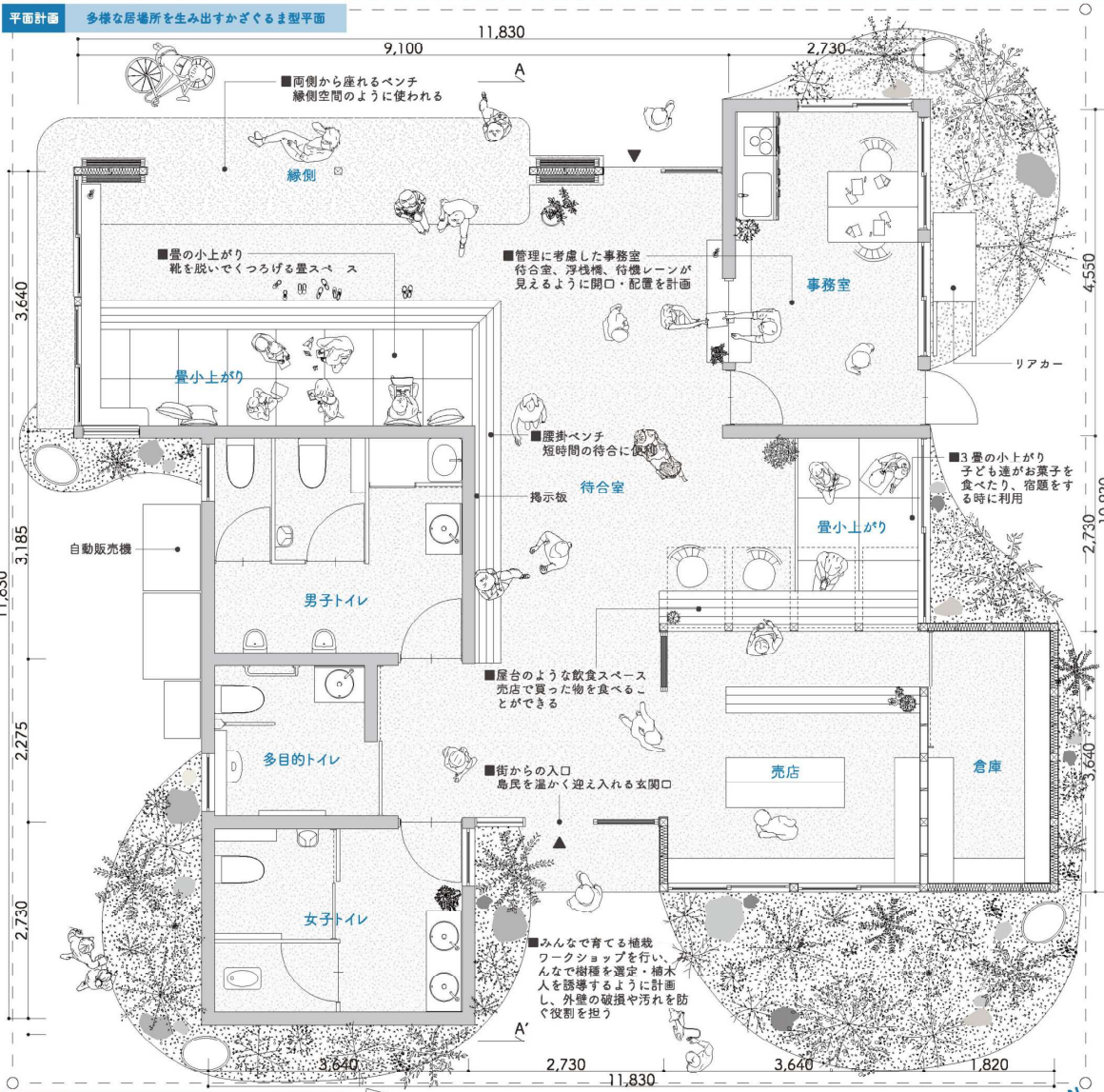
【配置計画】配置の検討
安全・短絡的な配置計画
浮桟橋
待機レーン
利用客動線
住宅街

【平面計画】かざぐるま型の構成
4つの顔を持ち、裏をつらない計画

面積表	
延床面積	120.05㎡
建築面積	174.14㎡
待合室	57.95㎡
事務室	12.42㎡
売店	13.25㎡
倉庫	6.62㎡
トイレ	29.81㎡

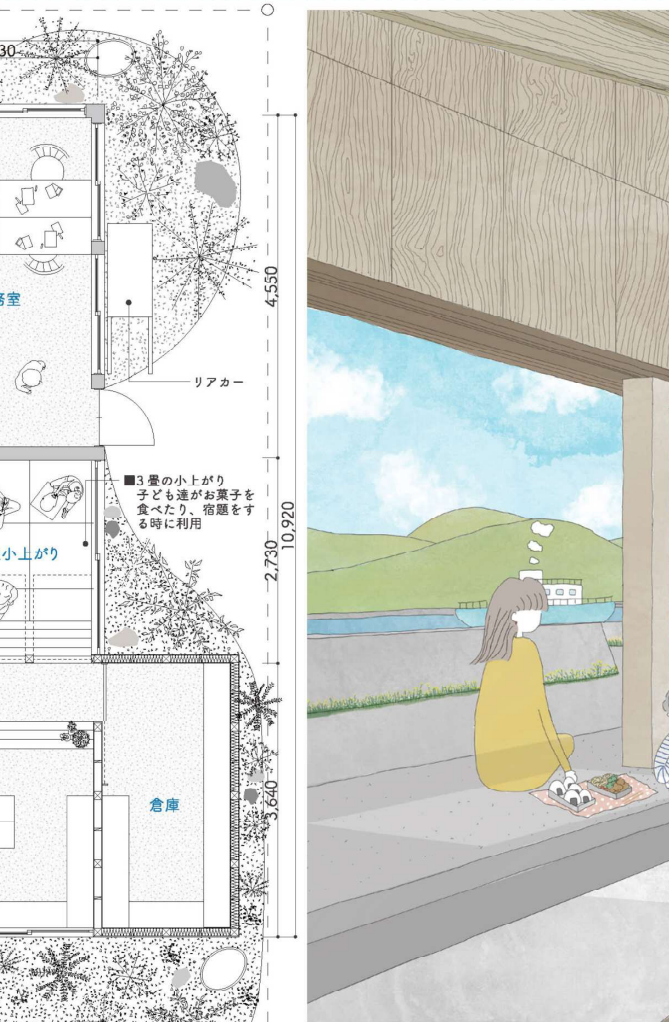
1. 島の新たな交流拠点となるアットホームな待合所

私たちが提案する待合所は、観光で島を訪れる人、通勤通学で利用する人、世間話をしに来る人、売店に買い物に来る人など、港を利用の可否に限らず、いつでもふらっと立ち寄れるアットホームな場所です。この待合所で様々な人が交流し、いろいろな繋がりや生まれる。そんな活気あふれる島の玄関口となることを期待します。



2. 既存待合所における滞留スペースの欠如

既存の待合室には、簡易的なベンチしか設置されていないため長時間の滞在に終わってしまい、利用者同士の交流は生まれにくくなっていると考えられます。人々の交流を促すには、滞留スペースを充実させる事が重要であると考えます。



3. 利用客の滞留空間により、交流を促すための工夫

畳スペース、内外を繋ぐ縁側、カウンターと畳小上がりなど多種多様な空間により、訪れた人々がくつろぐ場所を設けることで、利用客の滞留空間となり、交流を促します。また多種多様な空間により、自分だけのお気に入りの居場所を見つけてもらうことで、この建築に愛着を持ってもらえるようにという思いを込めています。

